

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

E-Pd 療法

4 週毎 コース予定

疾患名 多発性骨髄腫

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

(スケジュール)

【1, 2 コース目】

《注射》		day1	8	15	22
エムプリシティ(エロツズマブ)	10 mg/kg	↓	↓	↓	↓
《内服》		day1	8	15	2122
ポマリスト(ポマリドミド)	4 mg/body	↓	↓	↓
レナデックス(デキサメタゾン)	28 mg/body	↓	↓	↓	↓

【3 コース目以降】

《注射》		day1			
エムプリシティ(エロツズマブ)	20 mg/kg	↓			
《内服》		day1	8	15	2122
ポマリスト(ポマリドミド)	4 mg/body	↓	↓	↓
レナデックス(デキサメタゾン)	{ 28 mg/body 40 mg/body	↓		↓	↓

【注意】 *インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を用いて投与すること

*本剤は 30 mL/時間の投与速度で点滴静注を開始し、患者の忍容性が良好な場合は、患者の状態を観察しながら、投与速度を段階的に上げることができる。ただし、投与速度は 300 mL/時間を超えないこと。

*外来では、次回内服するデキサメタゾンの処方を確認すること。

*75 歳を超える場合はデキサメタゾンの減量(28 mg→8 mg、40 mg→20 mg)を考慮すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

E-Pd 療法
(レジメン)

【全コース共通】

day 1-21

ポマリストカプセル

内服

【1コース目】

day 1

投与 3～24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg

内服

① 生食 500 mL にて血管確保

維持 (20 mL/時間)

② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

ファモチジン注 20 mg

側管静注

レスタミン (10 mg) 5 錠

内服

カロナール錠 300 ～ 1000 mg

内服

☆ 45 分後より

③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL

*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)

◎ 輸液ポンプにて 30 mL/時間で点滴静注を開始

④ 30 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 60 mL/時間で点滴静注

⑤ 60 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 120 mL/時間で点滴静注

day 8

投与 3～24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg

内服

① 生食 500 mL にて血管確保

維持 (20 mL/時間)

② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

ファモチジン注 20 mg

側管静注

レスタミン (10 mg) 5 錠

内服

カロナール錠 300 ～ 1000 mg

内服

E-Pd 療法

☆ 45 分後より

- ③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL
*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)
◎ 輸液ポンプにて 180 mL/時間で点滴静注を開始
- ④ 180 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、
◎ 輸液ポンプにて 240 mL/時間で点滴静注

day 15, 22

- 投与 3~24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg 内服
- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
ファモチジン注 20 mg 側管静注
レスタミン (10 mg) 5 錠 内服
カロナール錠 300 ~ 1000 mg 内服
- ☆ 45 分後より
- ③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL
*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)
◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注を開始

【2 コース目】

day 1, 8, 15, 22

- 投与 3~24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg 内服
- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
ファモチジン注 20 mg 側管静注
レスタミン (10 mg) 5 錠 内服
カロナール錠 300 ~ 1000 mg 内服
- ☆ 45 分後より
- ③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL

E-Pd 療法

*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注を開始

【3 コース目】

day 1

投与 3~24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg

内服

① 生食 500 mL にて血管確保

維持 (20 mL/時間)

② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

ファモチジン注 20 mg

側管静注

レスタミン (10 mg) 5 錠

内服

カロナール錠 300 ~ 1000 mg

内服

☆ 45 分後より

③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL

*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)

◎ 輸液ポンプにて 180 mL/時間で点滴静注を開始

④ 180 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合、

◎ 輸液ポンプにて 240 mL/時間で点滴静注

day 8, 15, 22

デキサメタゾン錠 40 mg

内服

【4 コース目以降】

day 1

投与 3~24 時間前 デキサメタゾン錠 28 mg

内服

① 生食 500 mL にて血管確保

維持 (20 mL/時間)

② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL

側管静注

ファモチジン注 20 mg

側管静注

レスタミン (10 mg) 5 錠

内服

カロナール錠 300 ~ 1000 mg

内服

E-Pd 療法

☆ 45 分後より

③ エムプリシティ + 注射用水 適量 + 5%ブドウ糖 250 mL

*300 mg/V は 13 mL、400 mg/V は 17 mL の注射用水で溶解 (25 mg/mL)

◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注を開始

day 8, 15, 22

デキサメタゾン錠 40 mg

内服

	1 コース				2 コース			
	day1	day8	day15	day22	day1	day8	day15	day22
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
エムプリシティ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認								

※3 コース目以降

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
エムプリシティ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
エムプリシティ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				